

委員ご意見 <基本方針 5>

小田委員	<p><支援学校における障がい者スポーツの推進（具体的取組94）></p> <p>肢体不自由支援学校 4 校において運動部（ボッチャ）が実施され、生徒の意欲や自己効力感の高まり等の成果が得られていることは聞いている。<u>できるだけ多くの学校に拡がることを期待したい。</u></p>
田中副会長	<p><学校体育></p> <p>「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果を踏まえての授業等の工夫・改善を行ったと申告する学校の割合が伸び悩んでいるようであるが、過年度も指摘させていただいているように、「<u>子どもの体力向上</u>」の数値だけを意識した工夫改善といった場合、トレーニング的な運動メニューを反復する体育実践計画や、かつての「総則第 3 の体育」といった業間の体操実施計画に偏り、結果として子どもの運動に対する主体性を育む実践から離れてしまう危険性にも十分に留意していただきたい。新学習指導要領体育編の目標にある「<u>豊かなスポーツライフを実現する資質能力</u>」を育む視点が大切である。</p>